

2023年3月期 通期決算説明資料

2023.5.10

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村拡張



Confidential

目次

1. 2023年3月期（第13期） 通期決算概要
2. 成長戦略・対処すべき課題
3. 2024年3月期（第14期）業績予想
主な不確定要素について

1. 2023年3月期（第13期） 通期決算概要

- 3 -

(1) 2023年3月期 損益サマリー

単位：百万円

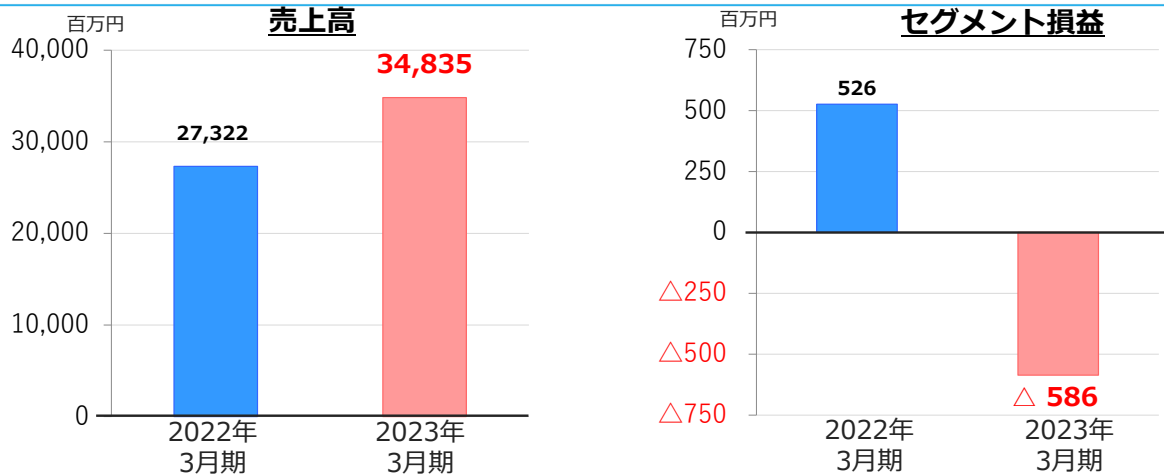
前年度実績比

増収減益

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減	増減率	
売上高	34,521	43,765	+9,243	26.8%	増収要因： ・主に買収企業の売上が寄与 ・「映像&IT」「ロボティクス」とともに増収
映像&IT	27,322	34,835	+7,513	27.5%	
ロボティクス	7,199	8,929	+1,729	24.0%	
営業利益	749	△530	△1,280	-	減益要因： ・売上原価の増加 ・販管費の増加
経常利益	955	△405	△1,360	-	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	431	△1,553	△1,984	-	繰延税金資産を取り崩し 子会社のれんの減損処理

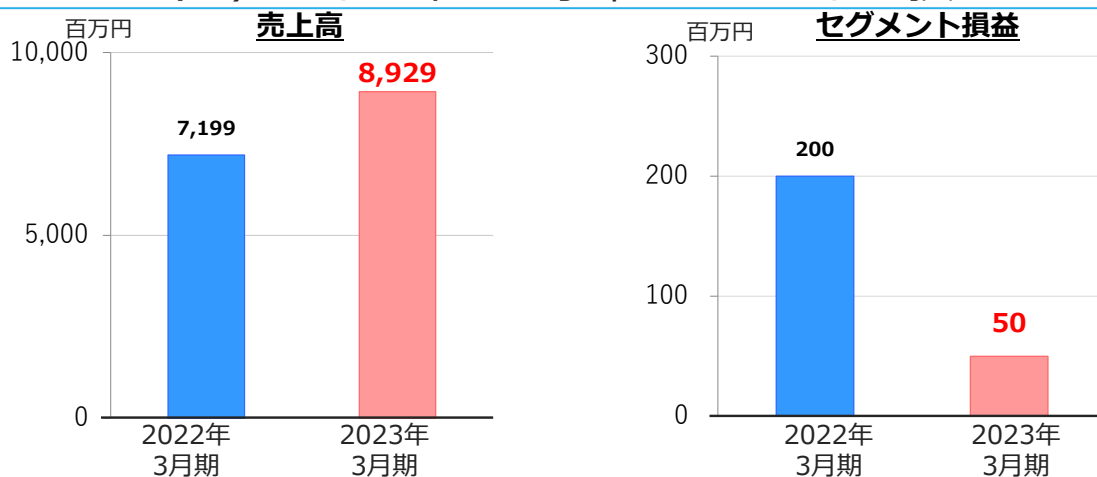
- 4 -

(2) 映像&IT事業セグメントの損益



- ・教育市場（電子黒板、書画カメラ等）：①国内 前期並みの水準維持
②欧米 急激な物価上昇やサプライチェーンの混乱などにより計画下回る
- ・車載事業：堅調な需要により受注が積み上がるも半導体関連部品の調達難の影響による納品遅延が継続
- ・買収しグループ入りした子会社が売上/利益に貢献
- ・物価上昇や円安によるエネルギー・電子部品価格高騰、部品調達難による生産性低下で売上原価が上昇し、事業拡大・顧客満足度向上を目指した営業組織強化による活動費用や管理費用増によりセグメント損失拡大

(3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・FA事業関連機器：①国内 堅調な需要に対して半導体関連部品の調達難の影響による納品遅延が継続
②中国 COVID-19による市場環境悪化の影響
- ・前期に買収しグループ入りした子会社が売上/利益に貢献
- ・物価上昇や円安によるエネルギー・電子部品価格高騰、部品調達難による生産性低下で売上原価上昇し、セグメント利益を圧縮

(4) 2023年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2022年 3月期	2023年 3月期	増減
流動資産	20,934	27,386	+6,452
固定資産	10,846	9,516	△ 1,329
資産合計	31,781	36,903	+5,122
流動負債	16,546	22,758	+6,212
固定負債	5,499	5,433	△ 65
負債合計	22,045	28,192	+6,146
株主資本	9,000	7,177	△ 1,822
その他の包括利益合計額	734	1,527	+792
純資産合計	9,735	8,711	△ 1,023
負債純資産合計	31,781	36,903	+5,122
自己資本比率	30.6%	23.6%	△7.0pt

流動資産：

- ・受取手形及び売掛金の増加 +3,543百万円
- ・部品調達難により出荷ができず在庫増 +2,595百万円

流動負債：

- ・部品調達難による在庫増・収益化の遅れ
支払手形及び買掛金 +3,898百万円
- 短期借入金 +2,022百万円

純資産：

- ・収益化の遅れと為替の影響
利益剰余金 △1,822百万円
- 為替換算調整勘定 + 808百万円

- 7 -

2. 成長戦略・対処すべき課題

- 8 -

テクノホライゾングループ 経営理念体系

MISSION

わたしたちの使命

グローバルな「人と社会」に貢献する

VISION

めざす未来

映像&ITとロボティクスで
豊かな社会を実現するグローバルカンパニー

VALUE

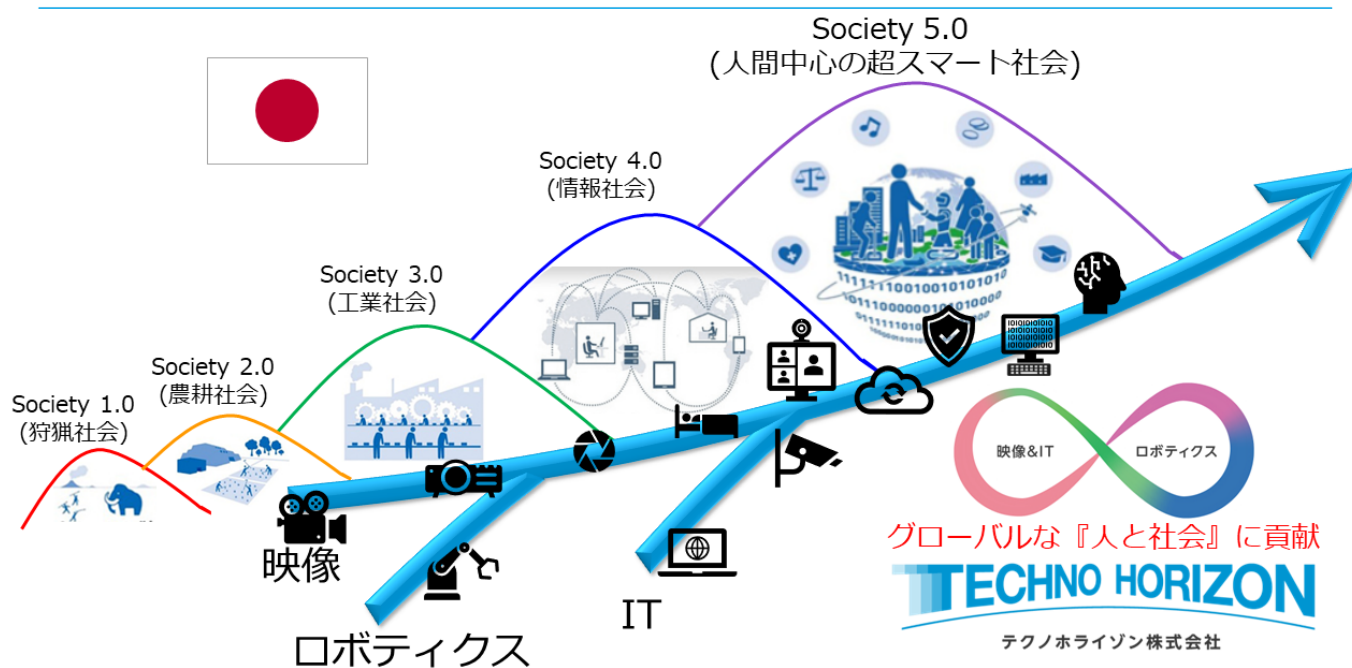
行動指針

風に向かう

～時代の風をとらえ、新たな波をつくる～

- 9 -

時代とともに進化するテクノホライゾングループ

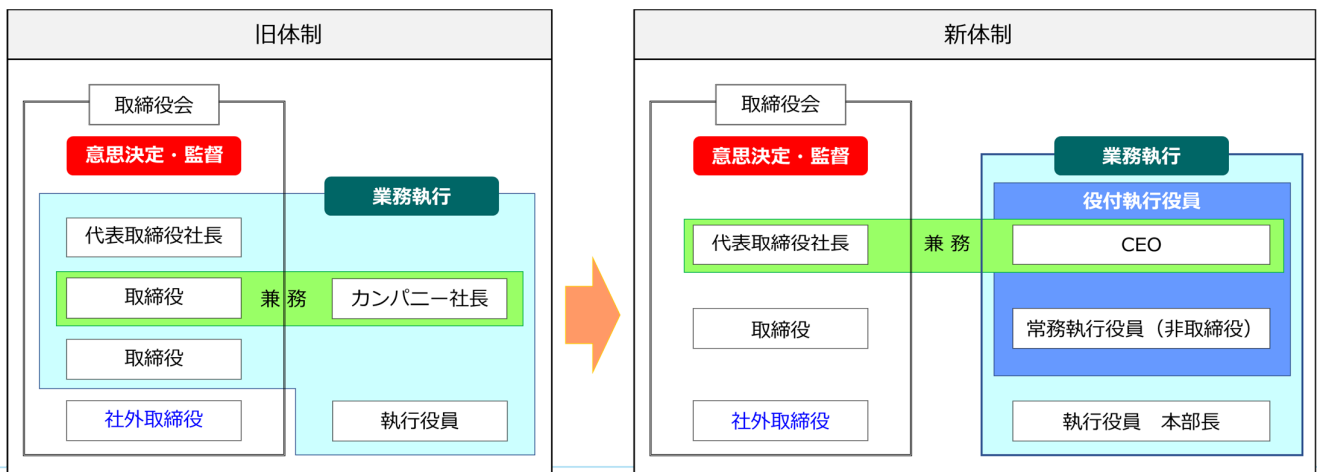


著しい経営環境の変化に対応し 成長と発展を実現するための施策実行

- 11 -

(1) 2023年4月1日に新体制発足

- カンパニー制を廃止し、事業内容毎に組織を担う本部制導入
- 本部間やグループ企業を横断した機動的な経営実現に向け、執行役員の上位業務執行者として役付執行役員（常務執行役員）制度を導入
 - ✓ 著しい経営環境の変化に対応し、当社グループが持続的に発展するための制変更
 - ✓ 各本部の責任者は執行役員が担当し、事業戦略、業務執行、業績管理を実施
 - ✓ 代表取締役社長がCEOを兼務し、最高責任者として全体の統括を担い、迅速かつ横断的に業務を執行



- 12 -

(3) 当社事業が対象とする領域を再定義

従来の対象領域：

「教育」「経営・オフィス」「セキュリティ」「車載」「医療・介護」
「FA」「マシンビジョン」



6つの領域：

「学校・教育」「オフィス」「店舗・住宅」「交通」「医療・介護施設」「工場」

全体をカバー：「光学」

(4) テクノホライゾングループが創るスマートDXの世界

Techno Horizon Unicity

街に暮らす人々が効率よく快適に暮らし働ける場所に変えていきます

- ✓ 建物を造り直す、街を再開発するわけではありません。
- ✓ 保有する技術、これから生み出す技術でスマート化された暮らしを創造していきます。



(5) テクノホライゾングループが目指す明るい社会

学校・教育

- ★誰もがどこからでも質の高い教育を受けられる新しい学びの場を提供
- ★データとテクノロジーで最適な指導のアドバイス、働き方改革実現

交通

- ★安心安全な運行、事故削減、マナー改善に貢献
- ★交通機関を利用する人やモノの移動に生じるリスクを軽減

オフィス

- ★経営者、従業員の創造力、マネジメント力の最大化ソリューション提供
- ★効率（生産性）の向上

医療・介護施設

- ★映像・センシング技術による介護現場のDX化
- ★映像技術を応用した先端医療機器の開発

店舗・住宅

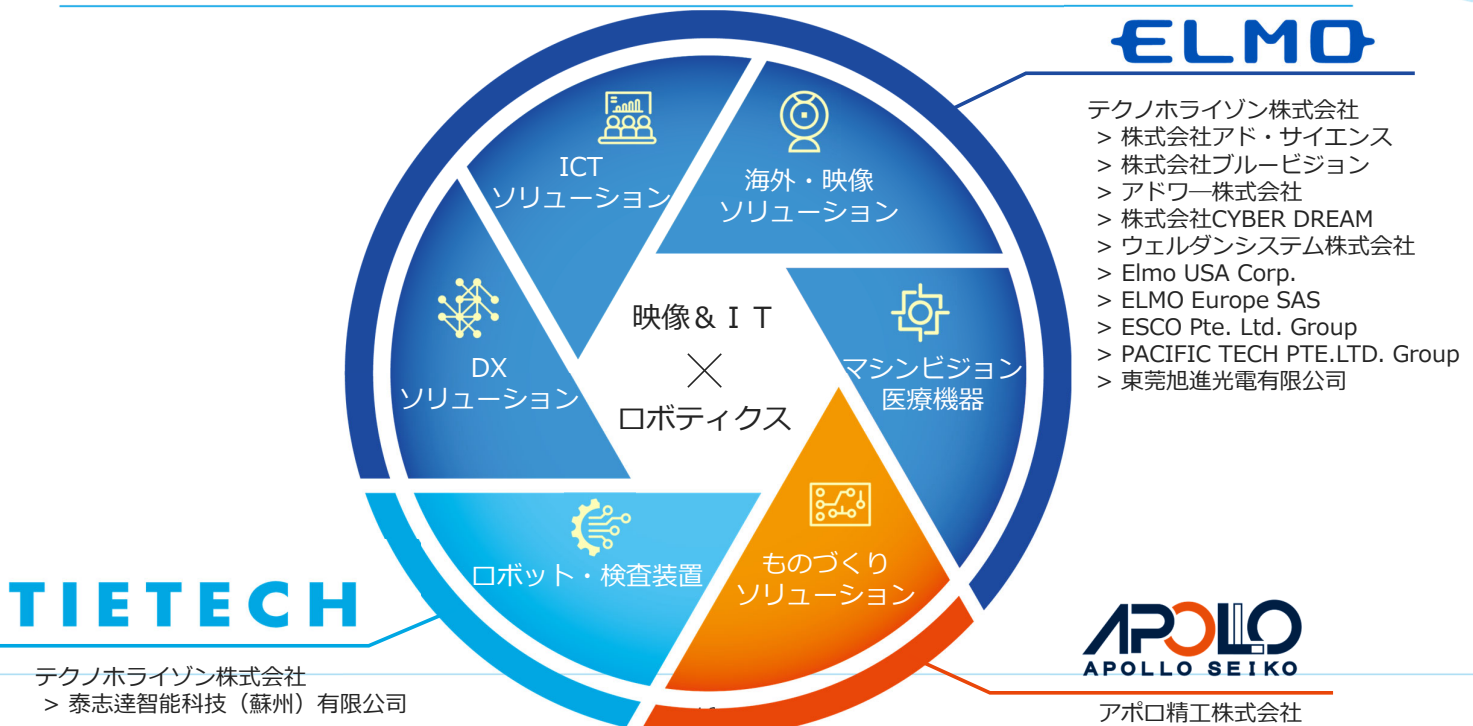
- ★店舗/交通/オフィス/工場などのあらゆる生活シーンを映像とITで「街=CITY」を繋ぐ
- ★建設/施工-店舗運営-セキュリティ-サポートのDX化実現

工場

- ★様々な制御技術、光学技術、IT技術でスマートファクトリー化に貢献
- ★成形市場・基板実装市場をリード
- ★自動化困難な目視検査の自動化



(6) 認知度アップ①：ブランド統一



(6) 認知度アップ②：展示会等への出展

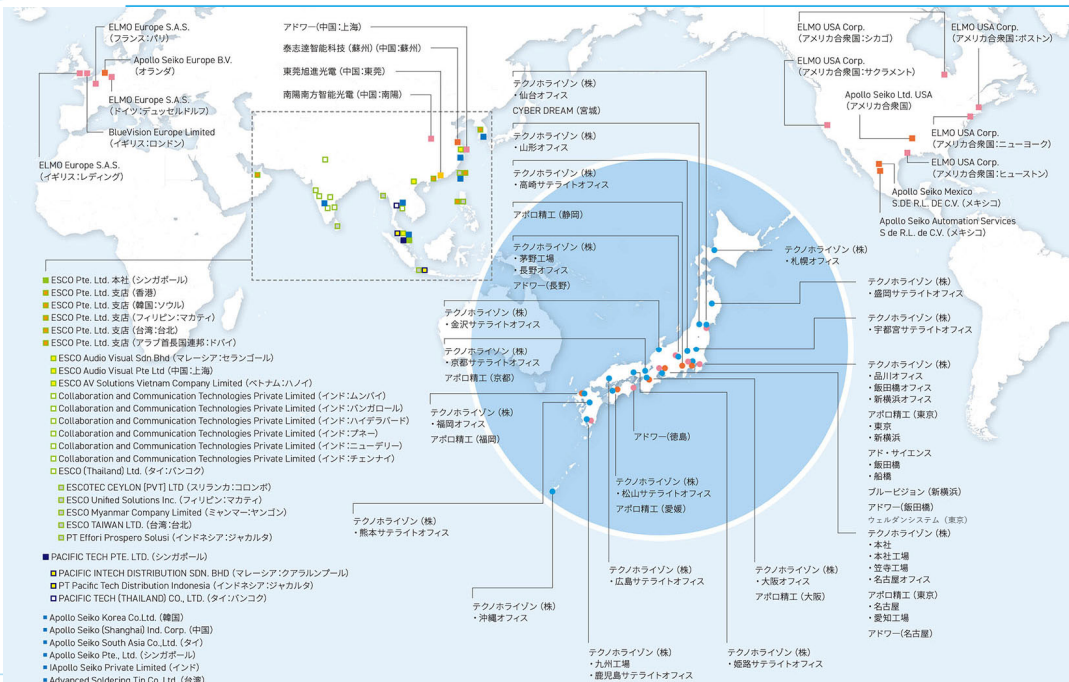
年間を通じて国内外75超の展示会等に出展予定



今年もプライベート展示会を開催（10月）

テクノホライゾングループ ソリューションフェア2023 in 名古屋

(7) グローバル化を加速



国内44拠点
海外48拠点

多様性に満ちた人材で
グローバルなニーズに応える



課題感

- ★ 人材確保・育成
- ★ コーポレート・ガバナンス

(8) 子会社間の合併①

映像&IT事業

- (1) 顧客サービスや当社グループ全体の効率的・効果的な業務の実現
- (2) デジタル技術を活用したソリューションサービス・クラウド・マーケティングオートメーションの取組推進
- (3) 3つの“A”を中心とした事業を展開
 - ① Academic (教育市場へあらたな製品・サービスの提供)
 - ② Automation (業務の自動化にむけたEPR・RPAソリューションでDX推進)
 - ③ Account (現代社会では多数のアカウントを保有し、多くのデジタルデータが日々蓄積される中、当該データを安心して利用できる環境の提供)



社名	アドワ株式会社
代表取締役社長	竹本 雄一 (前アジア㈱ 代表取締役社長)
事業内容	ソフトウェアの受託開発、販売、ソフトウェア技術者の派遣 各種システム構築・導入のコンサルティング、システム・ネットワーク設計・構築・運用・保守等 カメラ監視システム、映像管理システムの開発、輸入、販売 その他関連機器全般の販売、施工、メンテナンス



(8) 子会社間の合併②

ロボティクス事業

- (1) FA市場における工場のデジタル化支援能力を一層強化するために連結子会社を再編成
- (2) より付加価値の高い事業展開を図る
 - ① 国内/海外の販促基盤の強化
 - ② 技術の融合を行い効率的で価値の高い商品開発
 - ③ ものづくり体制の最適化
 - ④ 管理業務の効率化
 - ⑤ 人材の有効活用



社名	アポロ精工株式会社
代表取締役社長	牧 次郎
事業内容	自動はんだ装置及び関連機器の製造・販売、レーザー関連製品の製造・販売 各種製造装置及び検査装置の設計、製造及び販売 画像処理関連のハードウェア・ソフトウェア及びアルゴリズムの開発 工場DX化システムの開発・製造・販売

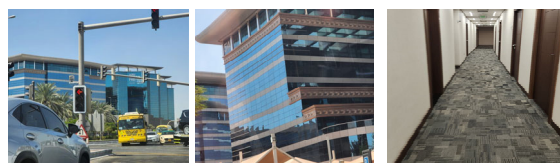
(8) ASEAN・アジア地域の事業展開強化①

ESCO Pte Ltd Branch (子会社間での事業移管 : エルモドバイオフィス)

- ELMO Europe SASから ESCO Pte. Ltd.への中東地域業務を移管
- ESCO Pte. Ltd.はアジア広域に拠点を構えて独自のネットワーク構築
- 拠点管理の一元化やシナジー効果・効率化により事業を強化
- **2022年9月22日登記**



事業内容：

 AV 機器および**教育用 I C T 機器**、システムの販売・設置工事


(8) ASEAN・アジア地域の事業展開強化②

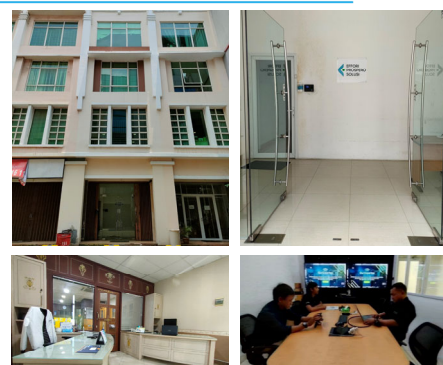
①PT PACIFIC TECH INDONESIA設立 (孫会社) (再掲)

- インドネシアに設立 (ASEANサイバーセキュリティ市場第3位※)
- PACIFIC TECH PTE. LTD. とESCO Pte. Ltd.が共同出資
- ASEAN 地域内において市場拡大を目指す
- 2022年7月28日設立、**12月業務開始**

事業内容：

 サイバーセキュリティ機器・ソフトウェアの販売、
 インストール、メンテナンス、サポート事業

※出典 Network Security Market : Technology Segment Analysis, ASEAN, Q3 2021


②PACIFIC TECH PTE. LTD. (PTSG) が、PACTECH MSP PTE. LTD. (PTMSP) の事業を統合

- 生産性と業務効率の向上、統合によるPTMSP維持コストの削減
- PTMSPのサービス事業を、セキュリティ機器・ソフトウェアの販売事業を担うPTSGに譲渡・集約
- 事業譲渡日：2023年1月1日

(8) M&A①：検査装置事業譲受

名古屋電機工業株式会社から事業を譲受け、技術力のある技術者が仲間入り

連結子会社とのシナジー

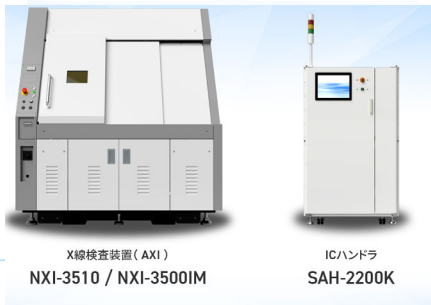
- ◆ アポロ精工株式会社（自動はんだ付装置等を開発・製造・販売）
- ◆ アインド株式会社（半導体洗浄装置等を開発・製造・販売）

新規顧客へのアプローチによる販路拡大



基板外観検査装置(AOI)
NVI-G350

はんだ印刷検査装置(SPI)
NVI-S300



X線検査装置(AXI)
NXI-3510 / NXI-3500IM

ICハンドラ
SAH-2200K

実装市場向け

- はんだ印刷検査装置(SPI) / 基板外観検査装置(AOI)
 - ✓ カメラやレーザーを用いた情報入力で、画像(2D)や高さ情報(3D)からの特徴抽出より、不良の有無を高速・高精度に検査を行う

半導体市場向け

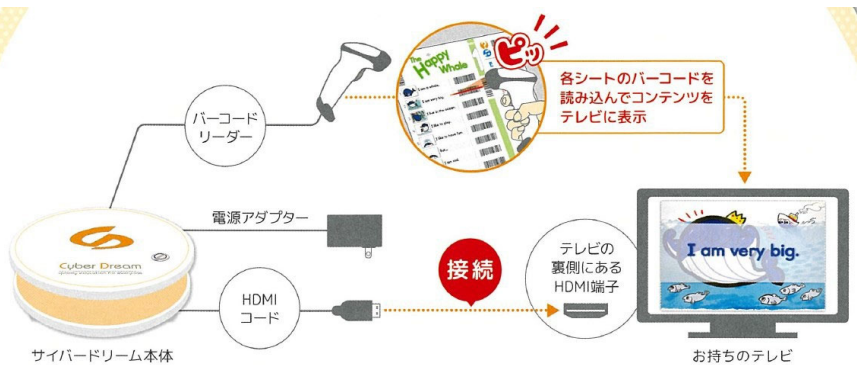
- X線検査装置(AXI)
 - ✓ 外観検査が難しい製品の内部状況の把握が可能
 - ✓ 斜めCTによる「非破壊検査」, 「自動検査」が特徴
- ICハンドラ
 - ✓ 供給トレイに収納された各種IC（集積回路）を自動搬送し、テスターで電気特性試験を行い、良品/不良品を分類



(8) M&A②：株式会社CYBER DREAM

幼児向けICT×ネイティブ英語を実現するシステムを開発・販売

全国の幼稚園・保育園に幼児向けのICT英語教材（ネイティブ英語）の開発販売
サブスクリプション型のサポートサービス



期待されるシナジー

- ✓ 幼児を引き付けるコンテンツ作製ノウハウの獲得
- ✓ 幼児向けICT商材のラインナップ化・ELMO営業網を活用した同社商材の販売強化
- ✓ 当社が手つかずの幼稚園・保育園市場に対するELMO製品のアプローチ機会獲得

(8) M&A③：ウェルダンシステム株式会社

校務システム（スクールマスターZeus）に特化した企画・販売・開発・運用・保守

私立 小中高校130校を超える導入実績

学校業務に精通した人材が顧客仕様に徹底カスタマイズ、他社にはマネができないシステム

空いた時間を生徒のために！
私立小中高校向けトータル校務システム



スクールマスターZeus



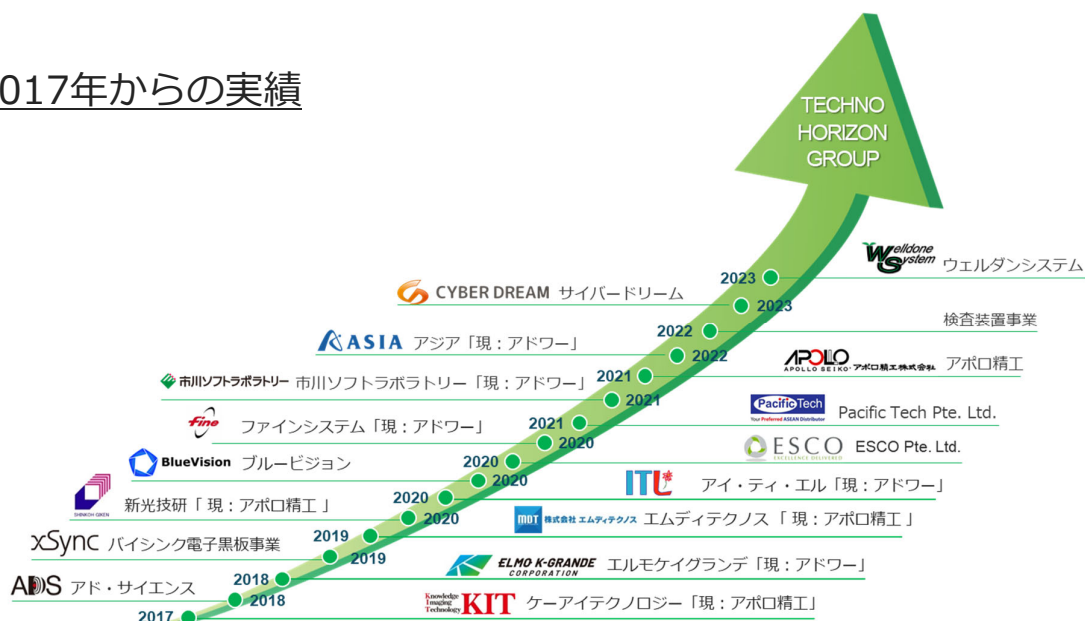
現役教師が選ぶ私立校向けNo1校務システムにも選出

期待されるシナジー

- ✓ 当社が手つかずの校務領域への製品提供で既存製品との相乗効果
- ✓ 校務に多忙な教師の働き方改革を支援
- ✓ 教育現場により深くかかわり、教育の質を高める好循環の創出

(8) 事業を発展・成長させる積極的なM & A

2017年からの実績



3. 2024年3月期（第14期）業績予想 主な不確定要素について

- 27 -

（1）2023年3月期 業績予想（前期比較）

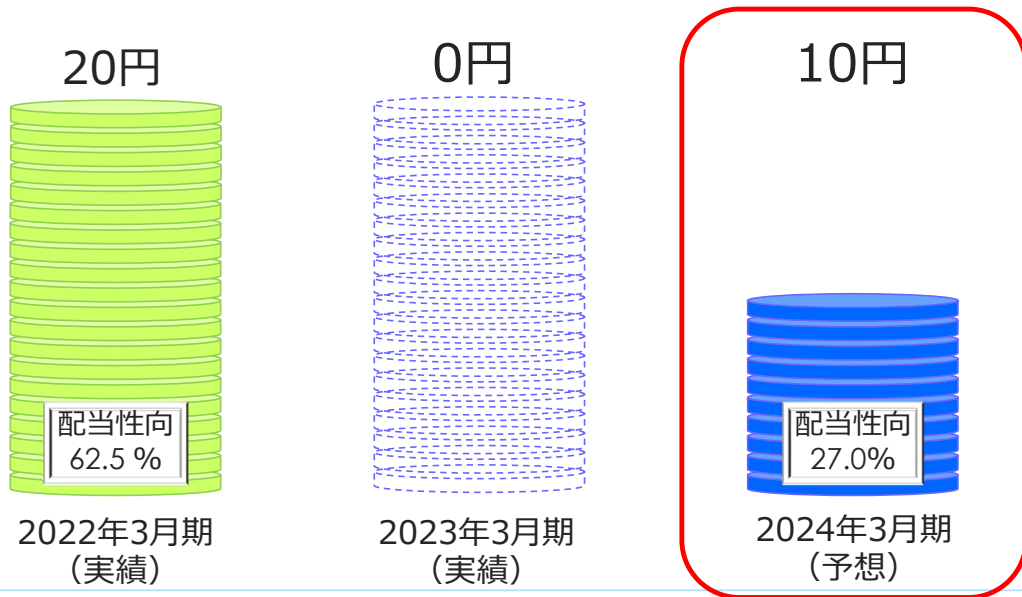
単位：百万円

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	増減	増減率
売上高	43,765	48,000	4,234	9.7%
営業利益	△ 530	800	1,330	—
経常利益	△ 405	600	1,005	—
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△ 1,553	500	2,053	—

- 28 -

(2) 2024年3月期 配当予想

業績回復を見込むことから、10円の復配を予想



- 29 -

(3) 2022年3月期の業績に影響する主な不確定要素

- ① 世界的な半導体需要のひっ迫・商材の納期遅延
- ② 半導体価格の上昇
- ③ サプライチェーンにおけるコスト上昇（エネルギー・原材料等）
- ④ 為替相場（円安による輸入製品等のコスト上昇）
- ⑤ ロシアによるウクライナ侵攻等の地政学的リスク
- ⑥ 世界経済減速懸念と景況感悪化による受注減少

- 30 -

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

I R 担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： info@th-grp.jp

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス
授かった希望
未来へ羽ばたく風をつかめ

Confidential

TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIETECH

APOLLO
APOLLO SEIKO

TECHNO HORIZON GROUP

ADS

BlueVision

ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

Pacific Tech

APOLLO
APOLLO SEIKO

Adwaa

CYBER DREAM

Confidential